

雨天時対応マニュアル

2025 年 8 月 6 日

関東学生テニス連盟

・前日に雨予報であった場合、両校で話し合い、インドアコートを確認する。予備日（予定していた対戦日程の二日後までを予備日とする）を過ぎる場合に雨予報である時は必ずインドアコートを確認し、試合を行える状態にすること。また、自校の都合で相手校に強要はしないこと。

・予備日を過ぎる場合にインドアコートを確認できない時は、学連に連絡すること。

・以下対応手順となる。

- ① 試合会場地点の雨雲レーダーを確認し、両校話し合い、何時間待機をするかを決める。オムニコートで試合ができる可能性がある場合は、最低でも 2 時間は待機すること。
- ② コート選択権所有校のコートレフェリーが関東学生テニス連盟(03-5577-4940)に連絡。学連のコートレフェリーが派遣されていない場合は、両校の代表者が連絡すること。
※1・2 部校の連絡は当日派遣された学連のコートレフェリーが行います。
- ③ コート選択権所有校のコートレフェリーは途中経過をメールフォームにて報告。メールフォームには、試合会場、試合状況、待機時間、再開予定時刻などを記入すること。
- ④ 再開する、中止する、会場移動、どの場合でも学連に報告。
- ⑤ 再開をしても試合が終わらなかった、中止にした場合、原則として翌日朝 9 時より試合を再開する。翌日の天気予報などから、翌日朝 9 時より試合を開始できないことが明確な場合はこの限りではない。（一部校の場合は 10 時試合開始とする）プラクティスの有無は両校で話し合って決めること。試合前アップは 5 分間とする。
- ⑥ 会場移動をする場合は、両校の合意のもとで、できるだけ近くのインドアコートを探す。インドアコートの使用料は両校で折半すること。
- ⑦ インドアコートが見つからない場合は、両校の合意のもとで、予備日の範囲内で延期する。
- ⑧ 延期した試合は、原則として次の予備日に行く。予備日がない場合は、両校の都合を考慮して、学連に相談する。
- ⑨ 延期した試合は、前日までに終了した試合の結果をそのまま引き継ぐ。途中経過の試合は、中断した時点から再開する。
- ⑩ 延期した試合の会場や時間は、両校で話し合って決める。学連に報告すること。

○両校の合意が取れない場合

【事例】

- ・両校の合意が取れず、会場場所または試合日程が決まらない場合
- ・雨天時対応マニュアル通り進めていたが、⑥⑦に記載されている両校での話し合いをもっても決める事が出来なかった場合

【優先順位】

前提：両校の合意をもって、進める事

そうではなかった場合は以下の順番で対応してもらう。

- ①コート選択権校が、「早い日程」かつ「雨予報無し」
- ②相手校が、「早い日程」かつ「雨予報無し」
- ③コート選択権校が、「早い日程」かつ「インドア」
- ④相手校が、「早い日程」かつ「インドア」
- ⑤コート選択権校が、「遅い日程」かつ「雨予報無し」
- ⑥コート選択権校が、「遅い日程」かつ「インドア」

※この場合、「早い日程」とは相手よりも早い日程を提示しているという意味になります。
「遅い日程」とは相手よりも遅い日程を提示しているという意味になります。

※「雨予報無し」とは、終日雨予報が予想されている場合以外を指します。例えば、午前もしくは午後のいずれかは雨予報が無い場合で、対戦校のどちらかが試合を出来ると考えている時、「雨予報無し」と判断します。

・対戦前であれば必ず対戦前日までに、順延または延期の場合は順延・延期を決めた段階で、次の対戦日を設定するようにお願いいたします。

1 部校リーグレフェリー 三浦 寛太

2~7 部校リーグレフェリー 仲野 心